

中国地方における基幹的な交通基盤 の整備について（要望）

平成 16 年 8 月

中 国 経 済 連 合 会

要望の趣旨

中国地方は、豊かな自然、歴史、文化や産業技術などの地域資源を活かして、四国地方とともに東西南北方向に多様で活発な交流・連携を展開することにより、「中四国経済文化交流圏～環三海二山交流圏～」を形成することを目指しており、中国経済連合会は、環三海二山交流圏の形成に向けて、地域連携軸の形成、広域都市圏の形成、広域観光、産学官の連携、情報化などに鋭意取り組んでいるところであります。（別紙「中国経済連合会の取り組み」参照）

中国地方は、個性を持った大小さまざまな都市が適度に分布した分散型の地域構造となっており、各地域がその個性を活かしながら広域にわたる交流・連携を進め、地域の一体的発展を図るためには、それを支える基幹的な交通基盤の整備が是非とも必要であります。

また、市町村合併の進展、道州制の導入などが論議されるなか、個性と活力ある分権社会を形成するためにも、交通基盤の整備が不可欠であります。

さらに、中国地方のポテンシャルを活かして、「安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり」「中国の美しく豊かな自然・歴史・文化などを活かした地域づくり」「競争力のある地域経済社会の再構築」「周辺地域との交流・連携と国際交流拠点の機能強化」を図る観点からも、地域の交通基盤整備は重要な課題であります。

本要望は、以上のような観点から当連合会の交通問題委員会（委員長：大田 哲哉 広島電鉄(株)代表取締役社長）において審議を行いとりまとめたものであり、格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

中国地方における基幹的な交通基盤の整備について

中国地域の一体的な発展のために交流と連携を促進するため、特に下記の事項について十分にご配慮いただき、基幹的な交通基盤の計画的かつ早期の整備について、格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

1．高規格幹線道路網の整備

「中四国経済文化交流圏 ～環三海二山交流圏～」の形成のため、国の責任による高規格幹線道路網の計画的かつ早期整備を図っていただきたい。

中国横断自動車道は整備方式が「新直轄方式」に変更されたが、整備にあたっては、必要な財源措置のもと、現行の整備スピードを落とすことなく、早期の整備を図っていただきたい。

- (1) 中国横断自動車道・尾道松江線（尾道～三刀屋木次）
- (2) 中国横断自動車道・姫路鳥取線（佐用～鳥取）
- (3) 山陰自動車道（鳥取～美祢）

2．地域高規格道路等の整備

地域発展の核となる中枢・中核都市圏内の高速道路、地域の有機的な連携を図る都市間連携道路、さらに都市と中山間地を連携する道路について、計画的かつ早期に整備を図っていただきたい。

- (1) 広島都市圏自動車専用道路網（指定都市高速道路）
- (2) 岡山・倉敷都市圏道路
（岡山倉敷道路、倉敷福山道路等）
- (3) 都市圏環状道路（鳥取、福山、岡山等）
- (4) 下関北九州道路（関門海峡道路）

3．既存ストックの有効活用の促進

地域産業の振興を支援し，地域間の交流や産学官の連携を促進するための高速道路・空港・港湾等へのアクセス道路など，基幹的な交通基盤の相互連携を勘案した一体的整備を図っていただきたい。

特に，地域の国際拠点空港である広島空港については，軌道系も含めてアクセスの早期改善を図っていただきたい。

また，高速道路の利用促進を図るため，地域の特性を考慮した弾力的な料金設定，生活道路の役割も考慮したＩＣの増設，ＩＴＳの積極的な導入など図っていただきたい。

4．財源の確保

交通基盤の円滑な整備のために必要な財源の確保を図っていただきたい。

以上

中国経済連合会の取り組み

1．日本海国土軸の形成

平成 10 年 3 月、「山陰・日本海国土軸グランドデザイン」を策定し、これに基づく取り組みを進めております。

「山陰・日本海歴史文化回廊」構想の策定（平成 11 年 3 月）
「山陰地域の産業高度化と新産業創出」に関する提言
（平成 12 年 10 月）
山陰地域の産業振興に関する提言（平成 15 年 3 月）
鳥取・倉吉地域の「匠の地域づくり」（平成 15 年度～）

2．中四国地域連携軸の形成

中四国地域連携軸（東ルート、西ルート）の形成を促進するため、中四国セントラルルート地域連携軸推進協議会等において、交流連携を促進しております。

3．瀬戸内海地域の総合整備

自然・歴史・文化・産業などの地域資源を活かした瀬戸内海地域の活性化について、関係自治体や経済団体と共同し検討を進めております。

「瀬戸内海歴史文化回廊」構想の策定（平成 9 年 10 月）
「瀬戸内海地域の白砂青松の保全ならびに創生に向けて」の提言（平成 12 年 10 月）
国土交通省「瀬戸内海地域の総合整備のあり方調査」への参画（平成 14 年度）
国土交通省「瀬戸内海沿岸地域における総合的管理のあり方調査」への参画（平成 15 年度）
「新しい交流の場としての瀬戸内海に関する提言」の実施（平成 15 年 8 月，16 年 3 月）
「瀬戸内海創生構想」の策定（平成 16 年度）

4．広域都市圏の形成

活力ある広域都市圏の形成を目指し、岡山・倉敷中枢拠点都市圏や三次・庄原都市圏などの一体的発展に取り組んでおります。

中国地域における都市圏整備のグランドデザインに関する調査（平成 13 年 3 月）

岡山・倉敷都市圏整備の基本方向「ツインシティーズ岡山・倉敷中枢拠点都市圏構想」の提言（平成 14 年 5 月）

三次・庄原都市圏整備の基本方向「三次・庄原ガーデンシティ構想」の提言（平成 14 年 9 月）

周南市における都市再生モデルの策定（平成 15 年 3 月）

5．広域観光の推進

広域観光推進組織を中心に、街づくりや広域観光ルートの形成に取り組み、地域振興を図っております。

シンポジウム・観光展「トキメキちゅうごく旅物語」の開催（平成 13 年 9 月）

夢街道フォーラムの開催（平成 14 年 1 月）

山陽・山陰キャンペーンの開催（平成 14 年度）

「中国ブロック観光情報サイト」の構築（平成 16 年度）

6．産学官連携への取り組み

「世界有数のイノベーション地域」と「世界のモデルとなる循環型社会」の実現を目指し、平成 14 年 2 月、「中国地域発展のための産学官連携マスタープラン」を策定し、その着実な実施に向け取り組みを進めております。

中国地域産学官連携サミットの開催（第 1 回：平成 14 年 2 月，第 2 回：平成 14 年 11 月）

中国地域産学官コラボレーションシンポジウムの開催（平成 14 年 6 月～）

キャンパスベンチャーグランプリ CHUGOKU の開催によ

る大学発ベンチャーの創出支援（平成 14 年 7 月～）
広域的ネットワークのための情報プラットフォームの整備
（平成 14 年 11 月）
産学官連携推進に関する企業自主行動指針（ボランタリープ
ラン）の策定・普及（平成 14 年 11 月～）
中国地域産学官コラボレーションセンターの開設・運営
（平成 15 年 3 月～）

7．情報化への取り組み

中国地域の情報化の現状を把握するとともに、産業・社会な
ど地域社会全般の情報化の展望と課題を探り、その対応の検
討・実施をしております。

地域特性を踏まえた I T S の展開に寄与するために「中国 I
T S 研究会」を設立（平成 12 年 11 月）
「中国地域における I T の推進について」及び「広島市におけ
るデジタルコンテンツ産業の育成」の提言（平成 14 年 1 月）
中国地域 I T 研究会による「I T が産業に及ぼす影響と課題に
ついての調査報告書」の作成（平成 14 年 2 月）

平成 16 年 8 月

中 国 経 済 連 合 会

会		長	高	須	司	登
副	会	長	八	村	輝	夫
副	会	長	米	原	正	博
副	会	長	丸		磐	根
副	会	長	皆	美	健	夫
副	会	長	稻	葉	侃	爾
副	会	長	岡	崎		彬
副	会	長	池	内	浩	一
副	会	長	宇	田		誠
副	会	長	徳	永	幸	雄
副	会	長	渡	辺	一	秀
副	会	長	勝	原	一	明
副	会	長	長	廣	眞	臣
副	会	長	林		孝	介
交通問題委員会委員長			大	田	哲	哉
交通問題委員会副委員長			澄	田	秀	雄
交通問題委員会副委員長			末	長	範	彦
交通問題委員会副委員長			齋	藤	宗	房